

平成 30 年度オフィシャル報告

1. オフィシャル活動

○アナリシスの添削

希望者と個別にやり取り。セレクションやインカレの前は対策コースを作って共有。現役学生同士(上級生と下級生のペア)で個人コーチ制を作って、トレーニングの計画や反省など。

○トレーニングの企画

週に一回水曜日に水戸で実施。内容は、現役学生たちにおまかせ。日立限定で突発的に「助川アタック」、「～と走ろう会」の開催。

大会や練習会のない週末は、稲田企画のトレイルランニングや登山で心身の鍛錬(ex. 日立アルプス 30km 縦走や日本百名山登山)

○新入生への指導

主に練習会や大会で実施。レース後の声掛け、行き帰りの車内でのルート相談など。新入生ということで基本的な考え方を中心に伝えることを意識。

○練習会、合宿での現役生の指導

ランオブや逆ランオブ。レース後の反省など。

○合宿、 部内セレのメインレースの運営

あじさい合宿のまとめレース、黄門杯の運営。

○その他

インカレやセレクションでスタート地区での現役のサポートを実施

2. 反省、次年度に向けて

近年の急速な部員増加に伴い、オフィシャルを務める OB の力だけでは指導やサポートの面を中心に、どうしても手の届かない部分が出てきています。セレクションや一般スタート地区のサポートに相当な量の水や食料、防寒着などが持ち込まれます。特にセレクションでは、スタートまで非常に遠いことが多く、オフィシャル殺しの果てしない誘導がしばしば心を折りにきます。この2年は一人でどうにかできるメンタル、フィジカル、バイタリティを持つオフィシャルだったのでどうにかできましたが、そろそろ人数の増加傾向的に限界を感じます。私は約25人分の水と食料を背負い、防寒着を両手いっぱい袋で運んで片道50分の山道で限界を感じました。しかしながら、今後、我々OBによる現役生のサポートはその必要性をますます高めていくことは間違いないでしょう。ありがたいことに今年からOBになる世代は、競技力高めの世代であり、まだまだ競技へのモチベーションも高い人物が多いので、彼らがメイン・中心となり、現役生のサポートを頑張ってもらいたいところです。その他の一般OBもインカレやセレクションなどの学生にとっての大きなイベントの際には、なるべく足を運んで少しでも学生の補助のお手伝いなど手を貸していただけたら、それだけでもかなりオフィシャルを務める人の負担は減ります。何より心強いです。オフィシャルだけでなく、OB全体でOLDの活動をサポートしていく、そんな1年にしていけたらいいなと思います。よろしくお願ひします。

3. 国際大会、インカレや各種大会等主な成績

世界大学選手権 2018(ユニバ) 日本代表 勝山佳恵

アジア選手権 2018(AsOC) 日本代表 勝山佳恵

アジア選手権 2018 女子ミドル 勝山佳恵 準優勝

関東学連新人戦 MF 溝井翔太 準優勝

関東学連新人戦 WF 大栗由紀 優勝

吉田真莉枝 3位入賞

根本真子 4位入賞

学校対抗戦 男女ともに優勝

インカレスプリント 2018 男子選手権 豊田健登 枠獲得に貢献

女子選手権 勝山佳恵 DISQ

インカレロング 2018 男子選手権 奥尾優理 競技時間内完走

女子選手権 勝山佳恵 準優勝

MUF2 クラス 溝井翔太 3位入賞

全日本ミドル 2018 女子選手権 勝山佳恵 優勝

全日本スプリント 2018 男子選手権 稲田優幸 A 決勝進出

男子選手権 奥尾優理 A 決勝進出

女子選手権 勝山佳恵 5位入賞

インカレミドルセレ兼関東インカレ 女子選手権 勝山佳恵 優勝

インカレミドル 2018 男子選手権 川崎翔 DISQ

女子選手権 勝山佳恵 6位入賞

MUA 3 クラス 奥尾優理 2位入賞

MUF 2 クラス 竹下晴山 3位入賞

MUF3 クラス 溝井翔太 優勝

インカレリレー 2018 女子選手権 大栗一橋本一勝山 5位入賞